

創立60周年を記念して心からお祝い申し上げます
私が大塚特別支援学校との関わり始めは幼稚部入学に向け
学校を見学させて頂いた印象は今も忘れません。近所の幼稚園は
色紙で作られた花ごかからく飾り付け、子供受けしやすさ感に
対して大塚は大人と殺風景な子供が通って来やすいのから?と
思ったほどでした。そんな幼稚部へ入学し高等部を卒業し現在息子32才
にふたつ今でも学校との関わりを頂いておりです。入学してから
自己表現が出来る。とほを発しない子供達をいかに楽しませるか
先生方が体全身を使って表現し、大塚声があつていふ指導を見て
入学した事を安堵致しました。

私が入学から28年間関わっている桐親会は、学校創立から5年経った
昭和41年に親の会として設立致しました。次の年の42年に先生方
中心となり、青年学級が誕生致し桐親会も今年54年目に成りました。
桐親会は、学校活動のいっしょに意味があり、先生方の協力があるこそ
学級生の安心?へも参加出来る場所でもあります。

この長きに渡り続けることのも、学校の協力のおかげです。
学級生が楽しんでくる青年学級、旅行、バスハイク、運動会、大塚祭、クリスマス
クリスマス会、は今年もコロナ禍ですべて中止となりましたが来年は
この行事を叶えられればと思っております。

このころの筑波大学附属大塚特別支援学校の増えの発展を心から
願っております。

桐親会 会長 萩野七恵、